

令和8年度 第2回 学校運営協議会 報告

日時 令和8年8月31日（月） 15時45分～16時30分

会場 並木第四小学校 家庭科室

出席者 学校運営協議会委員（10人）・学校職員（19人）

協議内容

（1）会長挨拶

会長より、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を支えていくことの重要性についてお話がありました。

（2）学校長挨拶

学校長より、夏季休業中の学校の様子やこれまでの教育活動について報告があり、本日の協議のテーマについて説明がありました。

（3）アイスブレイク・交流タイム

教職員と学校運営協議会委員との交流を図るため、各グループごとに「メンバーの共通点探しゲーム」を実施しました。和やかな雰囲気の中でお互いを知り、その後の協議へとつながる有意義な時間となりました。

（4）協議

テーマ 「この地域で育つ子どもたちに、これからの時代を生きる上で最も身に付けてほしい力とは何か」

委員と教職員がグループに分かれ、タブレット端末を活用しながら意見交換を行いました。

各グループの話し合いからは、

- ・ 人とのつながりを大切にし、様々な年代の人と関わる力
- ・ コミュニケーション力や相手の話を聞く力
- ・ 自分も相手も大切にし、思いやりをもって行動する力
- ・ 感謝やあいさつなど、人との関係を築くための礼儀や態度
- ・ 好奇心や探究心をもち、学び続ける力
- ・ 自然や地域との関わりの中で豊かに成長する力
- ・ 失敗を恐れず挑戦し、最後までやり抜く力
- ・ 自分のよさを知り、自信をもつ力
- ・ 自分で考え、判断し、主体的に行動する力

などの意見が出されました。特に、「人とのつながり」と「主体的に行動する力」は多くのグループで共通して挙げられたキーワードでした。

(5) グループワークの振り返り

各グループの発表を通して、学校・家庭・地域が願う子ども像について共有しました。

協議の中から、参加者が共通して大切にしたいと考えた姿は、

「人とのつながりを大切にしながら、自分で考え、挑戦し続ける子ども」

であることが確認されました。さらに、思いやりや感謝の気持ちを持ち、自分らしさを発揮しながら地域社会の中で成長していくことへの期待も多く語られました。

(6) 終わりの言葉

副会長より閉会の挨拶があり、第2回学校運営協議会を終了しました。

まとめ

今回の協議では、学校運営協議会委員と教職員がそれぞれの立場から活発に意見を交わし、地域で育つ子どもたちに必要な力について共通理解を深めることができました。

協議から見えてきたキーワード

- ・ つながる
- ・ 思いやる
- ・ 挑戦する
- ・ 学び続ける
- ・ 自分で考えて行動する

今後も学校・家庭・地域が連携しながら、これらの力を育む教育活動を推進してまいります。